富良野市

第２期子ども･子育て支援事業計画

【概要版】

富良野市
令和２年２月

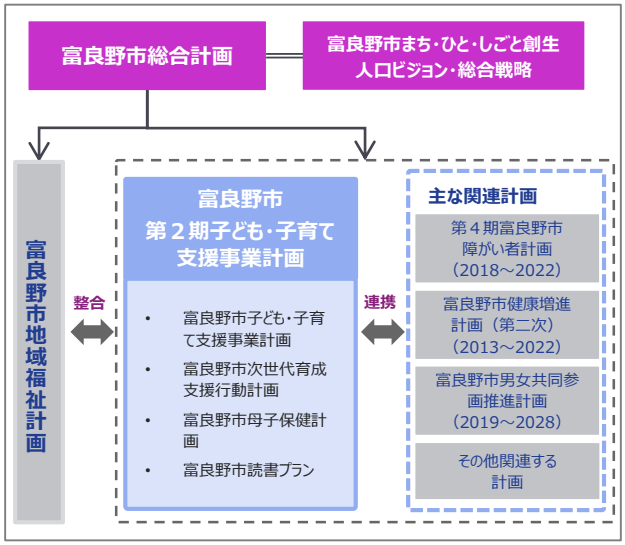
1 計画策定の趣旨

本計画は、富良野市に居住するすべての子どもの成長を支援するための取り組みと、その保護者あるいはこれから子どもを持とうとする富良野市民を支援するための取り組みを体系的にとりまとめ、今後５年間（2020年度～2024年度）の市の目指す姿を示すものです。

本市では、「すべては子ども達のために　すべての子ども達のために」を合言葉に、市と市民、地域が一体となって、子どもの育ちやその保護者、子どもを持とうとする人を支えていくことのできる環境づくりを進めています。

今後も、**「誰ひとり取り残さない」**ことを基本としながら、計画期間５年の重点プロジェクトとして、「お母さんの不安解消に向けた積極的支援」を設定し、子育て中の保護者の満足度向上に向けた取り組みを進めていきます。

本計画の位置づけ



本計画が目指す子育て支援のあり方

働き方が変わる
学び方が変わる
遊び方を変える

子育て環境を整え、満足度を上げる

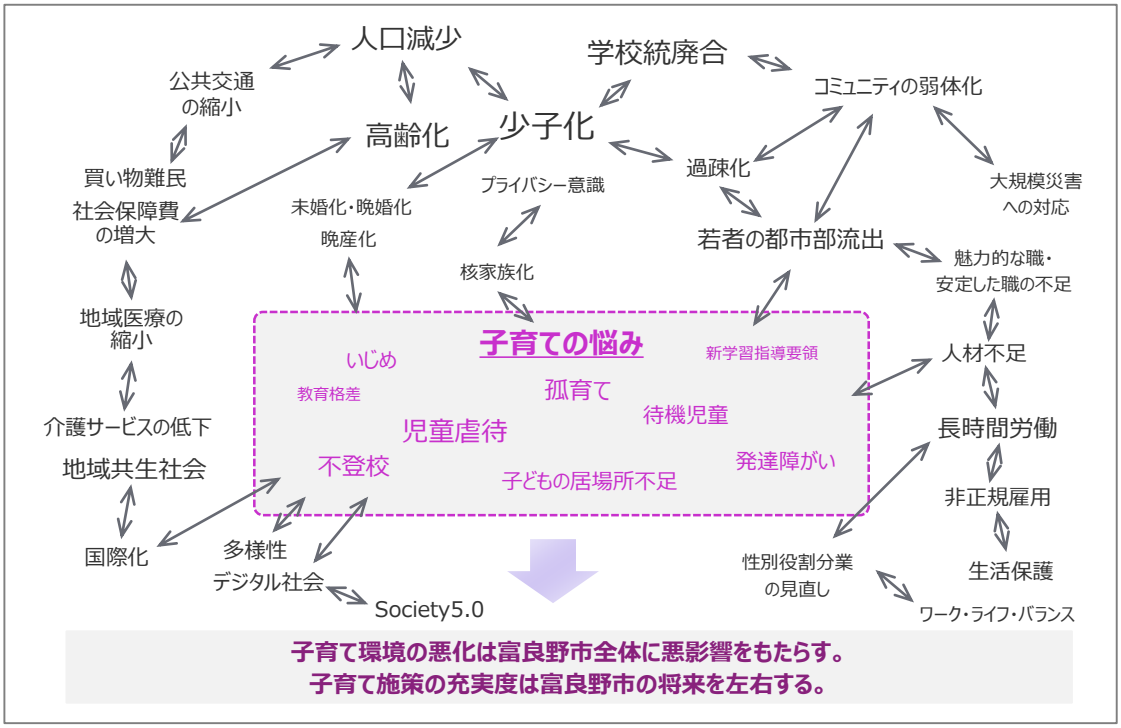
2 計画の基本理念

子ども・子育て支援制度は、「支援を必要とするすべての家庭が利用でき、子どもたちがより豊かに育っていける」ことを目指して整備されている制度です。少子化や核家族化の進行、保護者の就労状況の変化や家庭環境における変化等に対応しながら、すべての子どもが健やかに成長できる社会を実現していくことが求められています。

本計画の基本理念は以下のとおりです。これは、「すべての幼児・児童が、障害の有無に関わらず、互いの個性を尊重しあいながら、夢と希望を持って心豊かに、たくましく育てあう教育を推進するために、一人ひとりのニーズに応じた専門的な指導・支援を行い、自立や社会参加に向けて個々の能力を伸ばすことができるように環境を整備する」富良野市の教育の基本理念でもあります。

すべては子ども達のために　すべての子ども達のために

子育て支援は、子どもと保護者のためだけに展開されるものではなく、まちづくりの根幹をなすものの１つです。その充実度を高めることが、富良野市における好循環の創出につながります。



3 子育て支援における10の視点

次代を担う子どもには、今後も高度化する情報社会において、仮想空間と現実空間を融合させ、経済発展と社会的課題の解決を両立させることを目指す「Society5.0」を担うことが期待されています。子育てしやすいまちづくりを目指すのみならず、富良野市の子どもがそれぞれの個性や特徴を生かし、社会で活躍できるよう、一人ひとりの成長をまち全体で支援していく必要があります。

本計画においては、以下に示す10の視点を踏まえつつ、各支援施策を子どもの成長・世代別に整理しています。

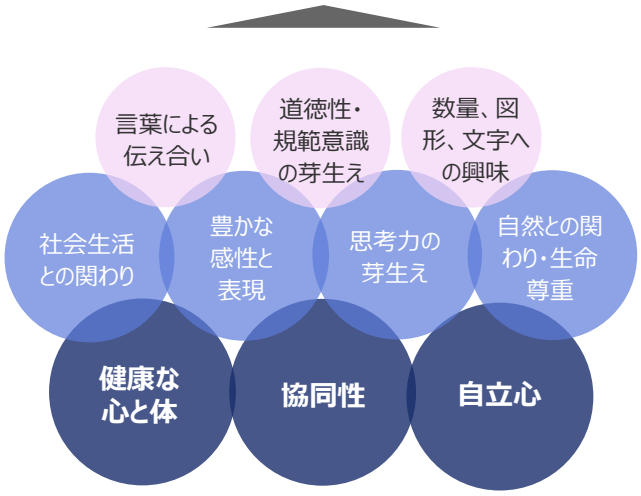
① 母親の視点強化	② 母親を支える父親と地域・企業が見守るワーク・ライフ・バランスの強化
③ 富良野の特徴、農業・観光の働き方を支える視点	④ 子どもと大人が一緒に過ごせる「居場所」を整える
⑤ IT/AI時代における「働き方改革」と「学びと遊び」の視点	⑥ 国際化・グローバル化する社会の視点
⑦ 産前・産後ケアを含む母子の健康不安の解消	⑧ 子どもの行動範囲を整える「まち保育」の視点
⑨ 遊びを通じた子どもたちの体力向上	⑩ 持続性と連続性（財源・子育て環境・支援など）

■育みたい資質と能力（幼児期の終わりまでに育ってほしい姿■

「知識及び技能の基礎」
豊かな体験を通じて、感じたり、気づいたり、分かったり、できるようになったりする

「思考力、判断力、表現力等の基礎」
気づいたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする

「学びに向かう力、人間性等」
心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする

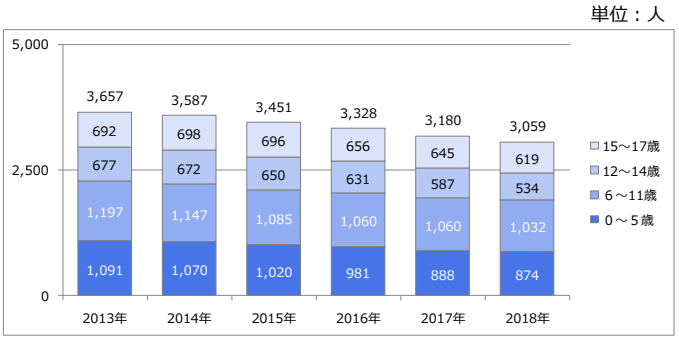


4 富良野市の子ども・子育てを取り巻く現状

子ども人口の推移

富良野市の子ども人口は近年減少傾向にあります。どの年齢層でも減少傾向が続いており、今後も少子化と人口減少は長期的に進行することが見込まれています。

■富良野市の子ども（18歳未満）人口の推移■

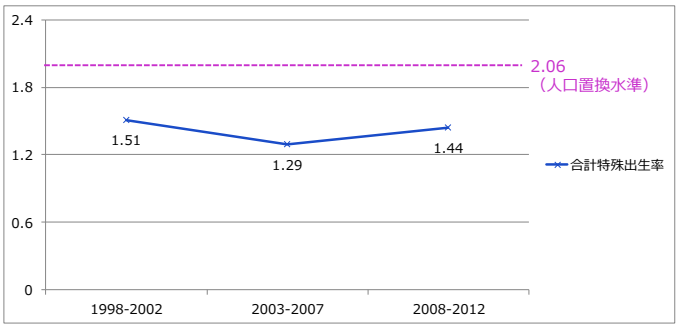


資料：住民基本台帳（各年10月１日）

合計特殊出生率の推移

富良野市の合計特殊出生率についてみると、1.2から1.6の間で推移しています。人口を維持するために必要な合計特殊出生率（人口置換水準）は2.06となっており、自然減は今後も長期的に続くことが想定されます。

■合計特殊出生率の推移■



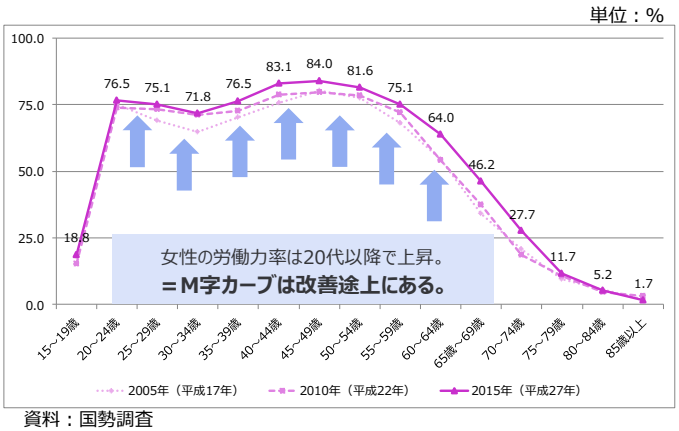
資料：RESAS

女性の労働力率

富良野市の女性の労働力率をみると、全体的に上昇傾向がみられ、女性の就労が進んだことがうかがえます。

一方で、30代で労働力率が低下する「M字カーブ」現象は続いています。共働き世帯の増加に伴う固定的性別役割分業意識の改善や多忙な子育て世代を支えるための子育て支援サービスの確保を量と質の両面から進めていく必要があります。

■富良野市の女性の年齢別労働力率■



資料：国勢調査

アンケート結果からみた富良野市の子ども・子育ての現状

本計画の策定にあたって実施したアンケート調査では、居住地域における子育て環境や支援への満足度について、**“不満”を感じている人が４割以上**を占めており、満足度が低い結果となっています。市の子育て環境に対する満足度の向上のため、市の子育て環境の改善を進めていく必要があります。

「孤育て」傾向の高まり

- 子育てに日常的に関わる祖父母の割合が低下し、幼稚園・保育所の関与が強くなっている。
- 緊急時に子どもをみてもらえる人がいないケースも増加している。

共働き世帯の増加による教育・保育ニーズの高まり

- 母親の就労が増えている。
- 共働き世帯が増加したことで、幼稚園の預かり保育のニーズが高まっている。

地域における保護者同士、専門職とのつながり不足

- 新米ママ交流、乳幼児の健康相談の利用意向が高まっている。
- 地域でのつながりが希薄化する中、子育てへの不安や負担を感じている保護者が多い。

放課後子ども教室・学童保育のニーズの高まり

- 共働き世帯の増加、核家族化等により、放課後の子どもの居場所のニーズが高まっている。
- 特に低学年時の子どもの居場所を確保する必要がある。

子どもの遊び場不足

- 重点的に取り組むべき子育て支援環境として、「室内の子どもの遊び場」が最も多い。
- 冬が長く、観光客の多い富良野市では、安心して子どもが遊べる場所が不足している。

地域医療（産婦人科・小児科）の充実

- 重点的に取り組むべき子育て支援環境として「安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備」が２番目に多い。
- 緊急時にも安心して利用できる医療機関が求められる。

仕事と子育ての両立

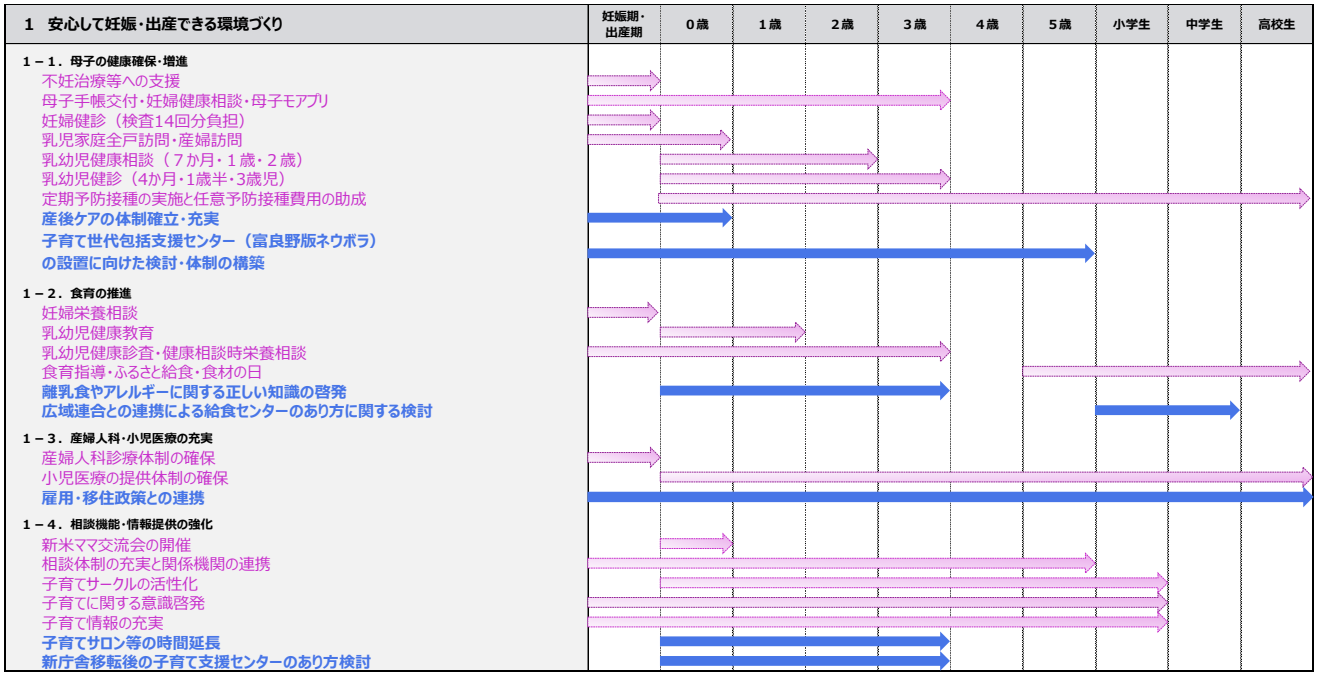
- 短時間勤務制度を「利用した」割合が低下した一方で、「利用したかったが利用しなかった」の割合が高くなっている。
- 社会全体で子育て・家事と仕事を両立できるような働き方を推進する必要がある。

5 基本方針と主な取り組み

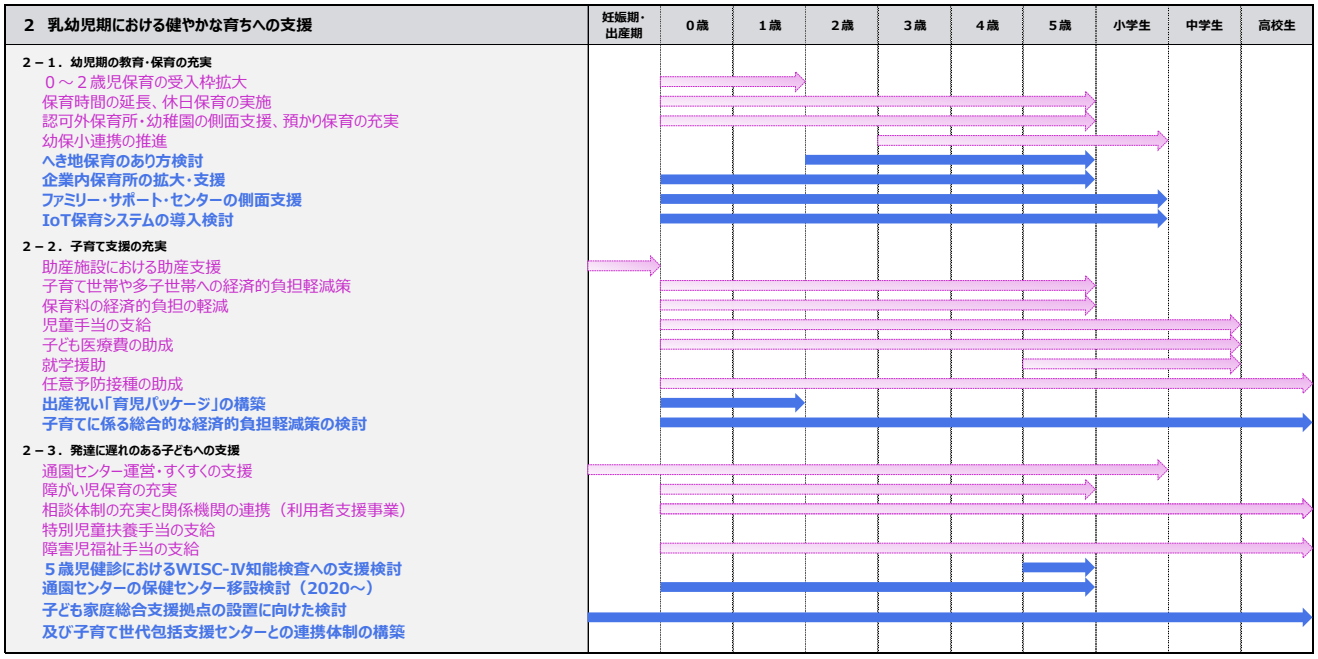
「富良野市第２期子ども・子育て支援事業計画」の推進にあたり、次の４つの基本方針を掲げます。
それぞれの基本方針に沿って、より子育てしやすい環境づくりを進めていきます。

1 安心して妊娠・出産できる環境づくり

：新たに検討すべき取り組み
：継続（予定）の取り組み



2 乳幼児期における健やかな育ちへの支援



2 乳幼児期における健やかな育ちへの支援

：新たに検討すべき取り組み
：継続（予定）の取り組み

2 乳幼児期における健やかな育ちへの支援	妊娠期・出産期	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学生	中学生	高校生
2－4．社会的支援を要する子どもへの対応										
要保護児童等に対する相談・支援体制										
要保護児童対策地域協議会										
母子・父子自立支援員の設置										
家庭生活支援員派遣事業の充実										
児童扶養手当の支給										
ひとり親家庭等医療費助成										
子ども家庭総合支援拠点等の設置に向けた検討										

3 自立や社会参加に向けた適切な支援の提供

3 自立や社会参加に向けた適切な支援の提供	妊娠期・出産期	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学生	中学生	高校生
3－1．子ども健全育成対策の充実										
子ども会育成連絡協議会活動支援										
子ども未来づくり事業										
青少年補導センター・子ども110番の家										
青少年サークルの育成支援										
ふらのまちづくり未来ラボ推進事業										
3－2．教育環境の充実と子どもの生きる力の向上										
教育分野におけるテクノロジーの活用に関する検討（Ed Techの導入検討）										
3－3．子どもの居場所づくり										
児童館の運営										
放課後児童クラブ（北の峰・緑町・麻町・桂木町・東部）										
放課後こども教室（山部・樹海・布礼別・布部・鳥沼）										
少年団体活動の支援										
文化・スポーツ活動の推進										
多様な子どもの居場所づくりの検討										
3－4．読書活動の推進										
家庭における読書活動の推進（ブックスタート・おはなし会）										
地域における読書活動の推進（児童館ブックトラック・こどもの図書館まつり）										
学校における読書活動（ブックトラック・学校読書活動）										
学びの場づくり										
新庁舎移転後の図書館2・3階の利活用										
3－5．子どもの権利を守るための推進										
富良野市要保護児童対策地域協議会										
「富良野市いじめZERO推進条例に基づく取り組みの推進										
子ども家庭総合支援拠点の設置に向けた検討及び										
子育て世代包括支援センターとの連携体制の構築										
3－6．思春期保健対策の充実										
健康・性に関する知識の啓発										
インターネットとの適切な関わり方についての啓発										

4 子育てを支える富良野市の環境づくり

4 子育てを支える富良野市の環境づくり	妊娠期・出産期	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学生	中学生	高校生
4－1．次代の親の育成										
子育てを地域全体で支える社会づくり（少子化問題の研修・意識啓発）										
男女共同参画による子育ての推進										
小中高生と乳幼児のふれあい機会の拡充・多世代交流の促進										
民生委員等の見守り体制の強化										
4－2．ワークライフバランスの向上										
育児休業・介護休業制度の啓発と普及										
労働時間短縮の促進										
女性の再就職への支援（自立支援教育訓練給付金・高等訓練促進給付金）										
求人情報の提供										
イクボス・イクメン等、ワーク・ライフ・バランスの機運づくり										
4－3．地域の教育力の向上										
家庭教育の充実										
家庭に関する相談体制の充実										
家庭教育ハンドブックの配布										
コミュニティスクールの活用と推進										
4－4．子育てに配慮した居場所環境の整備										
身近な遊び場・公園の整備										
子育てに配慮された施設・設備の整備										
子育て世帯に配慮した住環境の整備										
交通安全教育の推進										
子どもを犯罪の被害から守る取り組み										
防犯ボランティア活動の支援										
新庁舎内のこどもの遊び場設置										
空き店舗活用による遊び場設置										

7 重点施策と数値目標

本計画における重点施策として、①室内の遊び場の整備、②産婦人科医療、小児科医療の充実、③子育てに伴う経済的支援の充実の３つを掲げます。

冬が長く、まちなかに観光客の多い富良野市では、天候を問わず安心して利用できる子どもの居場所づくりが不可欠となっています。室内の子どもの遊び場の整備は、子どもと保護者のみならず、まちづくり全体に与える影響が大きいと見込まれることから、本施策を本計画の計画期間における重点施策の１つとして位置づけ、スピード感のある検討・取り組みを進めていくこととします。

また、医療体制の充実や子育て家庭への経済的支援の充実などについても、子育てしやすいまちづくりに向けた取り組みを加速させていきます。

重点施策

① 室内の遊び場の整備
② 産婦人科医療、小児科医療の充実
③ 子育てに伴う経済的支援の充実

「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」で取得する子育て環境や支援の満足度において、“満足”の割合を８割以上とする。

8 計画の進行管理

本計画の進捗管理及び実施状況の点検・評価については、こども未来課が中心となって、毎年度関係各課の施策・事業の実施状況を把握し、事業評価、再調整などを行うとともに、富良野市子ども・子育て会議での審議を経て実施します。

また、計画の進捗状況及び実施状況の結果については、「広報ふらの」や市のウェブサイト、ふらの子育てアプリ母子モ等を利用して広く市民に周知を図ります。

ふらの子育てアプリ母子モ

Apple およびApple ロゴは米国その他の国で登録されたApple Inc. の商標です。
App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
Google Play およびGoogle Play ロゴは Google LLC の商標です。

富良野市　第２期子ども・子育て支援事業計画

令和２年２月

発行：富良野市　教育委員会　教育部こども未来課
〒076-0032
北海道富良野市若松町５番10号　富良野図書館　3F
TEL：0167-39-2223／FAX：0167-39-7228